

2020年度  
事業報告書

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

## 1：新学習指導要領施行に伴う教材のリニューアルと配布

新学習指導要領施行に伴い、フラッグフットボールの経験がない教師に向けた教材「小学校授業サポートガイド」のリニューアルを教材会社と提携して行った。リニューアル後の「スタートブック」に関しては、小学校教師および教育関係者へ向けて、916校4,706部を無償にて提供した。

## 2：小学生向け副読本「作戦ブック」およびフラッグの製作と寄贈

授業を受ける小学生が、フラッグフットボールを理解しやすくすることをねらいとして、子ども用補助教材「作戦ブック」を製作し、140,000冊を全国の小学校へ寄贈した。

また、寄贈校のうち、850校については作戦ブックに加えて、用具（フラッグ）を1クラス分同梱した。なお、当事業は（一財）日本宝くじ協会の助成を受けて実施した。

## 3：第11回フラッグフットボール「作戦コンクール」のリニューアル

コロナ禍の事情を踏まえ、作戦コンクールについては従来の紙の応募ではなく「データ」での応募のみを受け付ける形に変更、表彰式は制限を行う等の修正を加えながら開催した。日本全国から212の作戦が寄せられ、優秀作品を表彰した。

## 4：「甲子園ボウル」記念ボールの寄贈

アメリカンフットボールの大学日本一決定戦である「甲子園ボウル」との貢献事業として、記念ボールを制作し小学校へ寄贈した。当事業は、甲子園ボウル実行委員会の助成を受けて実施した。

## 5：コミュニティ創造やレクリエーションイベントの開催および協力

例年実施されているフラッグフットボールチャリティーマッチ「ハドルボウル」を始めとしたレクリエーションの機会を創出するイベントの企画、主催、共催、後援、協力については、その多くがコロナ禍の事情から開催を見送った。また、自治体との拠点およびコミュニティづくり事業として、例年実施している長野県上伊那郡南箕輪村にてお

ける交流イベントおよび大会についても開催を見送った。

## 6：フラッグフットボール日本選手権大会の開催とリニューアル

2020年度より、フラッグフットボールチーム日本選手権大会を、公益社団法人日本アメリカンフットボール協会と共同主催する形に変更した。大会はコロナ禍の影響により、地区大会のみ実施した。一方で、2019年度まで実施していたNFLフラッグフットボール日本選手権大会の構造、運営体制、スポンサー等の見直しについては、期初計画通り実施し、公益社団法人日本アメリカンフットボール協会との協議、体制再構築を行った。また、期初に計画していた大会WEBサイトのリニューアルについては、日本スポーツ協会の助成金制度を活用して実施した。

## 7：WEBサイトおよびSNSの運営

WEBサイトのリニューアルを実施した。また、WEBサイトやSNSを中心にフラッグフットボールに関する最新情報やニュースの発信を行った。

## 8：ワールドマスターズゲームズ2021関西のリハーサル大会の開催

期初計画においては、2021年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西に、オープン競技としてフラッグフットボールが加わったことに伴い、リハーサル大会の開催が予定されていたが、コロナ禍の影響により延期となり開催されなかった。

以上